



- 実施主体 国立阿蘇青少年交流の家
- 実施場所 野焼き編事前指導：高森中央小学校・坂梨小学校・宮地小学校・阿蘇小学校  
秋編・野焼き編：国立阿蘇青少年交流の家・小堀牧野・町古閑牧野
- 実施期間 平成27年9月・10月、平成28年1月～2月



### ◇背景・ねらい

阿蘇の草原維持活動の体験や草原環境の学習を行うことで、草原の現状と課題を理解してもらっただけでなく、草原環境の保全・再生という地域課題の解決に取り組もうとする意欲の向上を図る。国立阿蘇青少年交流の家、地元牧野組合、草原環境学習小委員会等の各種団体が協働で実施することにより、効果的な草原環境学習のあり方を検証する。

### ◆実施概要

#### ○「秋編」

- ・平成27年9月29日（火）・10月5日（火）宮地小学校5年生66人
- ・草原と人との関わり・草原の危機を守る取り組みの講和や観劇、草原での自然観察や牛とのふれあい等の体験学習を行った。
- ・1日目：草原プロジェクトの室内プログラムの活用。草原クラフト（ススキのコースター）、草泊まりづくり体験。
- ・2日目：あか牛とのふれあい体験・草原劇・紙すき体験

#### ○「野焼き編」

- ・対象：高森中央小4年生52人、坂梨小3～5年生27人、宮地小5年生66人、阿蘇小5年生46人
- ・実施日：①事前指導（半日）1月18、22、25日、2月15日  
②野焼き（半日）2月1、5、18日
- ・各小学校で火消し棒づくり、草原についてなどの事前学習会を行い、牧野において野焼き火消しを体験。
- ・小学校との調整（統廃合による行事の調整）で、実施時期が例年より早くなり、雪や霜の心配が多かった。



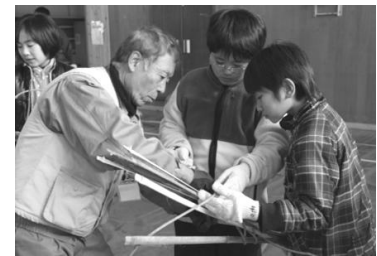
秋編：講話



秋編：あか牛とのふれあい

### ◆実施体制

秋編はH27年4月に草原環境学習小委員会ワーキンググループで話し合っって企画、野焼き編はH28年2月に話し合いを行った。運営は、交流の家を主体に、ワーキンググループのメンバーが協力。草原環境学習小委員会が共催。講師は、草原環境学習小委員会メンバー、町古閑牧野組合・小堀牧野組合組合員、専門家などに依頼。事前準備を密に計画し、連携を図った。



野焼き編：火消し棒づくり

### ◆成 果

- ・草原環境学習小委員会のメンバーからのアドバイスによって、事前学習において講師を招聘した活動などができ、参加した児童からは「将来は地元阿蘇での野焼きボランティアに参加したい」などの感想も聞かれ、草原保全に対する意識は高まったと考えられる。
- ・阿蘇の子どもたちの草泊まりづくりや野焼き体験活動を、ホームページにアップし普及啓発を行った。テレビのニュース番組や新聞でも報道され、活動の様子を広めることができた。



野焼き編：火消し体験

### ◆実施者の感想

本施設の事業は7年目を迎えた。今後も小委員会と連携しながら、小学校の児童や先生向けに「阿蘇草原キッズ・プロジェクトⅡ」の草原環境学習の広がりや定着を図る。また本施設の利用者に「草原環境学習プログラム」を実施し、基本的な学習プログラムが学べるよう広報を行う。